

三重東もみの木 (通所リハビリ)

主任 渡邊 正章

4月に開設1年を迎える事ができました。三重東もみの木には6つのパワーリハビリ機器があります。各マシンでは、座位の正しいポジションで、軽い負荷をかけ、同じ軌道の正確な運動を繰り返し行うことによって、「座る・立つ・歩く」という3つの基本的な日常動作に必要な筋肉、特に「動かさないことで、動かなくなった筋肉(不活動筋)」を再び活動筋へと戻し、徐々に無理なく動かせるようにしていきます。

とても大切なのは、「軽い負荷」「フォーム」「タイミング」です。フォームとは、運動中の「姿勢」「動作」です。フォームが適切でないと、不活動筋が活動しないまま終わることになります。そのため、担当する職員はご利用者様へ適切な「姿勢」「動作」を繰り返し指導させていただいています。

「自宅で○○ができるようにしたい」「○○をしてみたい」など、きちんとした目標を設定して、リハビリにご利用者様と一緒に取り組んでいます。



マイペット

介護福祉士 中村 早苗

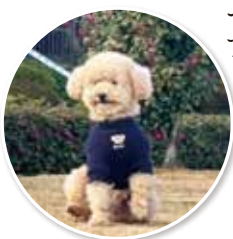
我が家の愛犬を紹介します。

犬種はトイプードルです。性別はオスで名前は「グウ」と言います。産まれて10歳になりますが、人間で言う50代です。

シニア期入り、以前よりも寝ている時間が多くなっています。人間と一緒で筋力の衰えを感じています。しかし、散歩が大好きで1日2回の散歩が日課です。冬場は1回になる事も...



ドライブが好きで、いろんなところについて行きます。最近では、車で6時間かけ広島県宮島まで家族旅行に行っていました。



今は、ペットも泊まれるホテルも増えてきており安心して連れて行くことが出来ました。これからも、いろんなところへ連れて行き、たくさんの思い出を作っていきたいです。

編集後記

春の訪れを告げる風が頬を撫でるころ、街や山の景色も少しずつ色づき始めました。木々の枝先には新しい芽が顔を出し始めています。まさに「柳暗花明」、柳の葉が生い茂り、花が咲き誇るこの季節は、長い冬を越えた喜びを私たちに運んでくれるようです。

「柳暗花明また一村あり」という言葉の通り、ふとした瞬間に新たな景色が広がることもあります。春の訪れは、まさにそんな驚きと発見に満ちたものではないでしょうか。道端の草花が静かに芽吹き、普段何気なく歩く道も鮮やかな彩りを帯びるこの季節は、私たちに新しい出会いや希望をもたらしてくれそうです。

皆さまに新たな発見を届ける存在でありたいと思っています。今後も多くの方々のご協力をいただき、地域の魅力や人々の温かさをお伝えできれば幸いです。これからも、春の光のように心温まる情報をお届けできるよう努めてまいります。

新年度の始まりとともに、皆さまの毎日が「柳暗花明」のように明るく輝くものでありますように...

事務長 後藤 稔

社会医療法人 関愛会
三重東クリニック

広報誌 2025 春号

今回の表紙は「旧緒方村役場」内部見学会での画像です。1913年に建造された洋風を基調とした木造2階建てで、主に1階は事務所に2階は議場に使われていたそうです。役所の木造建築物として県内で唯一残っているという重要性や、天井に設置された菊の花の石膏レリーフなどが評価され、国登録有形文化財に登録となったとのこと。地元に残る貴重な文化財があるのです。

表紙写真・文：飯尾 文昭 副院長

ひがしの空から

～幸せな人生へのお手伝い～

CONTENTS

認知症にも取り組んでいます
院長 宇都宮健志

認知症検査について
副院長 飯尾文昭

マイナ受付をオススメします

三重東もみの木～開設1年を迎えて～
マイペット紹介
編集後記



広報誌『ひがしの空から』

発行：社会医療法人 関愛会 三重東クリニック
〒879-7104 大分県豊後大野市三重町小坂 4109-61
Tel.0974-22-6333 Fax.0974-22-6341



認知症にも 取り組んでいます 院長 宇都宮健志



皆さんこんにちは、内科の宇都宮です。今回は認知症に関わるお話をしましょう。

当院は2010年9月に開院して今年で十五年になります。私たち職員も十五年の歳を重ねて参りました。今、こうして皆さんにお話が出来のも地域の方々の支えがあつての事と改めて感謝の気持ちでいっぱいです。そうした中、私達がお仕事をさせて頂いて

いる豊後大野市の高齢化率は45%に達し、いかにして健康長寿を全うするかが重要な課題となっています。そして健康長寿を目指す中で大きな課題の一つが認知症にどう向き合つて行くかという事ではないでしょうか？三重東クリニック十五年間の診療の中でも、認知症のことを不安に感じられている方、実際に認知症を患われて治療が必要になった方が、徐々に増えてきた実感があります。

しかし、認知症にはアルツハイマー型・レビー小体型・前頭側頭型・脳血管性など様々な病態がありますし、例えばアルツハイマー型認知症と言っても、実際は患者さんお一人お一人でその症状の現れ方も異なるのが現実です。また、認知症を患っている患者さんのご家族にとっても日常生活で困りなつている状況はご家庭毎に様々なようです。

そこで私達は飯尾医師を筆頭に十年ほど前から、認知症について学んで参りました。その中で驚いた事は、軽度認知機能低下が認められた方の半数は認知症ではない病気が原因であることや、現在、保険で認可されている

抗認知症薬は添付文書どおりに増量

していくと、記憶力の改善を実感するどころか、怒りっぽくなったり乱暴になつたりして余計に家庭生活がままならなくなつてしまうケースや歩けなくなつて自宅で生活出来なくなるケースが非常に多く報告されていることでした。もっと驚いたことは、ある大学の認知症を専門としている教授が「怒りっぽくなるのは薬が良く効いている証拠だ。」と発言されていることでした。認知症は、それを患っているご本人も辛いだろうと理解していますが、患者

さんを支えるご家族など周囲の方々も場合によってはそれ以上にご苦勞なさっているのが現状です。あまりに実生活を無視した言葉に絶句してしまいましたが、日本の認知症医療はそれほどまだまだ未成熟なのです。

三重東クリニックでは、恐らく日本で一番認知症患者さん診療してきたであろう、名古屋フォレストクリニックの河野和彦先生の手法(コウノメソッド)を学んで、患者さん・ご家族お一人お一人のお困り事に少しでも寄り添つてお力添えが出来るよう研鑽を積んで参りました。現在、日本で認可されている保険薬は一部の患者さんで認知症の進行を僅か数ヶ月遅らせることしか出来ません。一方で、保険薬以外の手法で、病状を幾分軽快させることで、介護負担などを軽減出来るものがある事も報告されており、お困りの方には適切に提案出来るのではないかと考えています。



診療の様子

認知症に関して相談してみたい事がありましたら、飯尾・宇都宮両医師が対応致しますので、スタッフにお気軽にお声掛け下さい。そして、一緒に認知症予防にも取り組んでいきましょう。

認知症検査について

副院長 飯尾文昭

当クリニックでは、かかりつけ医として、認知症患者さんの診療を行っています。今回、認知症検査の新しい医療機器を導入しましたので、ご紹介したいと思います。

神経心理検査用プログラム「ミレボ」という、「認知症の診療支援として、視線の情報を連続的に収集し神経心理検査に用いる」機器です。保険適応の検査機器で、認知症の検査として有名な、長谷川式認知症スケール(HDS-R)やMMSEと同じく、実施料80点の検査となります。



す。

脳トレ機器ではありませんので、むやみやたらと検査が行えるものではありませんが、物忘れが心配な方、高血圧症、糖尿病といった生活習慣病をお持ちの方は、医師に相談の上で検査が可能です。

「ミレボ」の特徴は、1. 視線を利用した、見つめるだけの検査、2. 問診式神経心理検査との相関を確認(MMSEとの相関が確認されています)、3. 測定時間が約3分かつ簡便である、4. 客観的な検査結果を得ることが可能、5. 回答の経緯を反映、6. 安全性(有害事象は頸部痛が1.3%に発現)などです。

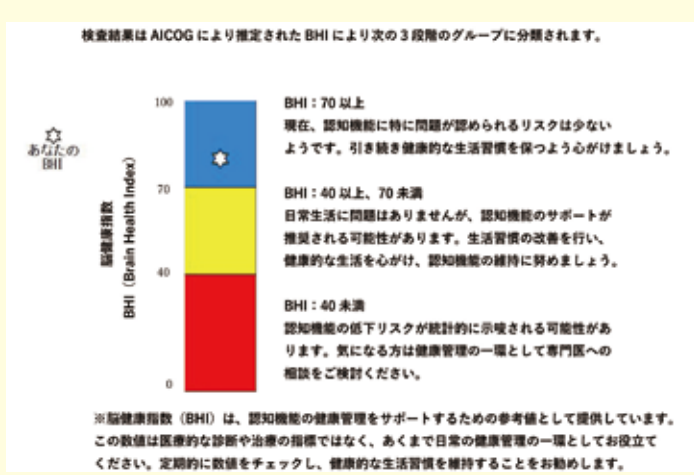
従来の長谷川式認知症スケール(HDS-R)やMMSEなど問診形式の神経心理検査では、1. 検査に時間がかかる、2. 被験者の心理的ストレスが大きい、3. 検査者のトレーニングが必要などの現状がありました。

まとめますと、「約3分で、より簡便に、客観的な検査結果を提供」できるようになりました。

日本では今後も高齢化に伴い、認知症の方の増加が見込まれていま

す。認知症の早期対応の一助として、「ミレボ」の活用を今後行っていく予定です。

また、あわせて、当クリニックでは、採血データを入力することでAIが3段階に認知症の危険因子を判定する「AICOG(アイコグ)」というサービスも行っています。この検査は自費で4000円の検査となります。医療スタッフや医師までお問合せいただければと思います。



マイナ受付を オススメします

令和6年12月2日以降、従来の健康保険証は新たに発行されなくなりました。それに伴い、受付方法が「マイナ保険証」を基本とする仕組みへシフトしています。

三重東クリニックでも「顔認証付きカードリーダー」を設置し、マイナ保険証での受付をご案内しています。

マイナ保険証を利用すると、患者さんご本人の同意に基づき、別の医療機関・薬局で処方されたお薬の履歴などが参照できてお薬の飲み合わせなどの調整がしやすくなったり、窓口で限度額以上の支払いが不要になったりと様々なメリットがあります。

初めてで操作方法がわからない場合は受付にお声をおかけください。スタッフが使用方法を詳しくご案内します。

マイナ保険証を利用するには、「マイナンバーカード」を健康保険証として登録する必要があります。当クリニックのカードリーダーで登録できますので、是非ご利用ください。

